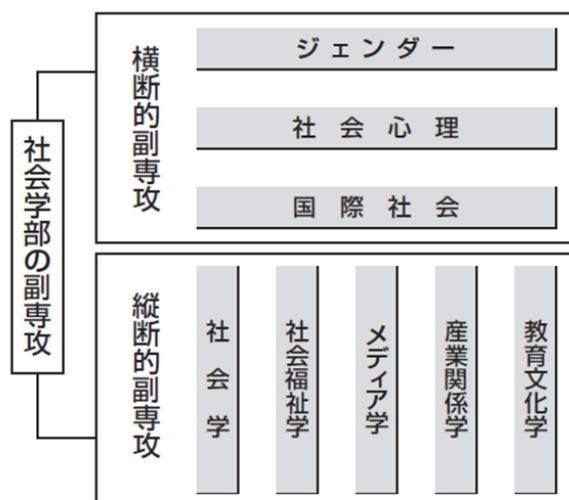


# 社会学部副専攻を履修してみませんか？

## 副専攻制度とは

社会学部では、学生の学びたいという意欲をサポートし、柔軟な思考と広い視野を身につけるために、副専攻制度を導入しています。各自の興味関心に応じて所属学科以外の分野などの副専攻科目群を選択することで、複眼的で柔軟な視野から現代社会を分析し、それに対応できる能力を養うことを目指します。副専攻は「横断的」と「縦断的」の2つに分類されており、副専攻を修了した場合は、卒業時に「副専攻修了証明書」を発行します。



### 横断的副専攻とは

社会学部5学科に設置されている「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」のいずれかのテーマを扱った科目を中心に他学部設置科目も含めて幅広く履修

### 縦断的副専攻とは

学部内の他学科主要科目を並行して履修

※それぞれの副専攻の概要は裏面参照

## 修了要件

●修了必要単位数：30単位 ※科目一覧は「2021 社会学部履修要項」P.130～132 参照

縦断的副専攻	社会学	社会福祉学	メディア学	産業関係学	教育文化学
選択科目1	8単位以上	8単位以上	指定なし	8単位以上	6単位以上
選択科目2	指定なし	社会福祉学科選択科目IA～D群より各4単位を履修	メディア学科選択科目IA～C群より各6単位を履修	指定なし	指定なし
合計	30単位	30単位	30単位	30単位	30単位

横断的副専攻	ジェンダー	社会心理	国際社会
選択科目1	8単位以上	8単位以上	8単位以上
選択科目2 (社会学部)	指定なし	指定なし	指定なし
選択科目2 (他学部)	6単位以内	6単位以内	6単位以内
合計	30単位	30単位	30単位



修了した場合、卒業時に「副専攻修了証書」を発行します。

## 各副専攻の概要

<b>社会学</b>	<b>社会福祉学</b>
人間と人間の関係や個人と社会の関係を研究します。全ての社会集団に共通する「人間社会の基本構造」を学び、質的・量的な調査技法についての知識を養います。	社会的視野に立って人間理解を深め、社会福祉問題の原因・結果と必要な施策・活動を科学的に考察し、社会福祉問題の解決に向けて実践する力を養います。
<b>メディア学</b>	<b>産業関係学</b>
幅広くメディア、ジャーナリズム、コミュニケーションの問題を扱います。現状を把握し、社会的役割や内容について考えるだけでなく、情報の読み方や発信の方法などについても学びます。	「働くこと」から生じる諸問題について、経済学、医学、労務管理学、社会学、法学など多様な領域から実践的に研究します。理論研究と実証研究を重視したカリキュラムを提供しています。
<b>教育文化学</b>	<b>ジェンダー</b>
文化や歴史の中で人間形成に関わる諸現象を研究対象とし、人間形成における歪みや荒廃の原因を明らかにするとともに、新しい時代の人間形成の理念と方法を模索することを目標としています。	家族社会学、ジェンダーとメディアなど、社会学部の専門科目はもとより、本学の特色である神学部専門科目、さらに法律、経済、歴史などの科目を含め、学際的な視野から幅広くジェンダーの問題を学ぶことで、ジェンダー・フリーな社会の形成に貢献できる人材の育成を目指します。
<b>社会心理</b>	<b>国際社会</b>
社会を捉える上でその構成要素である「個人」の心理や行動、人間関係のメカニズムを重視し、社会と個人がどのような相互規定関係にあるのかを探求します。心理や行動に関わる広範なテーマを横断的に理解することにより、社会に対する洞察をさらに一段深めることを目指します。	学生が国際社会について基本的な理解を高めていけるように開設されています。国際社会の理解には事実的な知識以前に、異なる社会や文化をどのように理解するかという基本的な視角を養う必要があり、そのための基礎的な科目、多様な学問領域から国際社会の様態を理解できる科目、特定地域をより深く理解する各国の経済研究や社会研究の科目を履修することができます。

太枠：縦断的副専攻 点線の枠：横断的副専攻

## 履修にあたって

- ・ 申請は2年次春学期からでき、各学期の一般登録期間中に学修支援システム DUET から申請できます。
- ・ 副専攻履修の申請前に修得した単位も副専攻科目として有効です。
- ・ 副専攻科目として修得した科目は卒業単位としても有効になります。この場合、自分の所属する学科以外の学科・他学部設置科目は選択科目Ⅱに算入されます。

不明な点があれば、社会学部事務室までお問い合わせください。